



薄い花弁の重なりが印象的な春の花「ラナンキュラス」です
(山形市)

人と人との力 地域の力 東北の未来に

村山総合支庁ニュース

—Murasou News— 第178号 平成29年4月号 山形県村山総合支庁

就任のあいさつ

村山総合支庁長

こまばやし まさひこ
駒林 雅彦

村山総合支庁長就任にあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

村山総合支庁は、山形市をはじめ、村山地域の14の市と町を管轄する県の総合出先機関です。道路・河川の維持管理や商工業・観光・農業などの産業の振興、住民の健康増進や福祉に関することなど、地域住民の皆様にとって身近な問題に、日々対応しております。

さて、今年度から、山形県総合発展計画を実現するための新たな「短期アクションプラン」がスタートしました。

村山地域においては、①地域資源を活かし新しい価値を生み出す「村山」産業群の形成、②交流と連携で活性化の中核都市圏「村山」の形成、③安心して暮らせる新たな田園都市圏「村山」の創生の3つのテーマのもとに、「時代の変化をとらえて地域の豊かさを支えるものづくり産業群の育成」、「むらやまの農業のブランド力強化と地域特性を活かした6次産業化の推進」、「仙台圏との交流連携によ

る活力ある地域づくり」、「地域間連携・産業資源活用による観光交流の拡大」、「市町間等の連携による活力ある新たな生活圏づくり」、「安心して結婚し、子どもを産み育てられる環境の整備」など、地域の特色を活かし、地域の実情に即した施策を積極的に展開してまいります。



現場を預かっている村山総合支庁は、地域の皆様からの要望を受けて様々な地域課題の解決に取り組むこと、更には皆様の声を国や県庁にしっかりと伝えることが県行政を支えることに繋がる、という「現場主義」の視点に立って、管内の市町や地域の皆様とも連携しながら、「地域を元気にしていく総合支庁」として、各種施策に積極的に取り組んでまいりますので、よろしくご挨拶申し上げます。

平成29年度村山総合支庁予算の概要

I 村山地域の発展方向

都市と農村が共鳴し合い、様々な県民活動が展開される田園都市圏『村山』の創造

《取組の基本方策》

1. 地域資源を活かし新しい価値を生み出す「村山」の産業群の育成
2. 交流と連携で活性化の中核都市圏「村山」の形成
3. 安心して暮らせる新たな田園都市圏「村山」の創成

II 当初予算の概要

予算規模 5億9,613万円

●地域企画調整推進費

- ・村山地域広域連携推進事業
- ・むらやま広域婚活事業

- ・社会インフラ整備・管理人材スキルアップ支援事業
- ・むらやま子育てサポートふれあい体験事業 など

●産業廃棄物税・やまがた緑環境税活用予算

- ・むらやま版・木のある生活推進事業 など

●総合支庁運営経費など

(総務課 023-621-8107)

国道347号の鍋越峠で防災訓練を実施しました！

山形県尾花沢市と宮城県加美町を結ぶ国道347号が今冬から通年通行となったことを受けて、平成29年2月28日（火）に宮城県との県境付近の鍋越峠において、「峠の下り坂で乗用車1台がスリップし、道路脇の壁に衝突して道路を塞いだ。運転手は負傷し動けない状況。後続車の運転手が付近の非常電話から通報した。」との車両事故を想定した初の訓練を実施しました。

訓練には、両県の警察、消防などの関係者約50人が参加し、出勤から負傷者の搬送までの一連の流れを、実践しながら行いました。

当日は、好天だったこともあり、訓練はスムーズに進みましたが、峠道で懸念されているスリップ事故への対応について、今後も訓練を積み重ねていく必要があることを確認しました。

(北村山道路計画課 0237-47-8666)



緊急車両誘導訓練



負傷者の救出訓練

農林水産分野で活躍する若い力 「村山地域農林水産業若者賞」

平成29年3月9日（木）、村山総合支庁において、「平成28年度村山地域農林水産業若者賞」の表彰式が行われました。この賞は、村山地域の農林水産業の振興発展及び人材育成のため、農林水産分野で活躍する若者を顕彰するものです。今年度は、優れた功績や成果を上げ、地域の課題解決に地道な取組を行っている4名の方が、加藤総合支庁長より表彰されました。

平成28年度の実績と主な功績は、次のとおりです。



受賞おめでとうございます

- いけの ひろとし
- 池野 博聡 さん（山形市・農業）
～高品質なユリ切花生産、産地形成、後進の育成等に貢献

いくいね ようへい

 - 生稲 洋平 さん（河北町・農業）
～イタリア野菜の地域ブランド化、若手就農者の育成等に貢献

さかい なお

 - 坂井 奈緒 さん（村山市・農業）
～農家民宿経営による情報発信・観光交流、地域活性化等に貢献

せいの けいすけ

 - 清野 敬介 さん（東根市・林業）
～森林作業の効率化・低コスト化、担い手育成等に貢献

～ 受賞された皆さん ～
（左から 清野 敬介さん、
坂井 奈緒さん、加藤支庁長、
生稲 洋平さん、池野 博聡さん）

(地域産業経済課 023-621-8432)

【関山街道交流シンポジウム】を開催しました！

基調講演【地域間交流を活かした地域づくり】



パネルディスカッション

村山地域と宮城県仙台地域を結び、古くから人や物の交流を支えてきた「関山街道」。村山総合支庁では、関山街道の果たしてきた役割や、街道沿いの文化的・歴史的遺産を地域資源として再評価し、地域間交流や地域活性化に結び付けていくことを目的に、天童市・東根市と連携し、関山街道をテーマにした取組を行っています。その取組みの1つとして、3月2日、東根市さくらんぼタクトクルセンターを会場に、「関山街道交流シンポジウム」を開催しました。

シンポジウムでは、宮城学院女子大学現代ビジネス学部長の宮原育子教授が、「地域間交流を活かした地域づくり」と題して基調講演を行った後、歴史家の小形利彦氏ら4名のパネラーが、それぞれの活動内容等を紹介するとともに、資源の活用方策を提案しました。当日は、両地域の地域住民など約110名が熱心に聞き入っており、今後も、地域資源を地域間交流や地域の活性化に結び付けていく、このような地域の取組みを後押ししていきます。

(総務課連携支援室 023-621-8353)

山形生花商組合

おおいずみ たくや

大泉 拓也 さん

シリーズ

～むらやまの若人（わこうど）たち～Vol.50

～花を通して、思いやりのある子どもたちに！～

ログハウス風の店内は天井が高く、広い空間に所狭しと何種類もの花が私たちが温かく迎えてくれた。ふとしカウンターの上に目をやると、笑顔でフラワーアレンジをする子どもたちの写真が目にとまった。

拓也さんが卒業した寒河江幼稚園への出前授業は今年で4年目になるという。年長組の子どもたちが思い思いに花を選びアレンジして作る花は、大好きな家族へのプレゼント。拓也さんが花を通して、子どもたちに相手を思いながらプレゼントする時の喜びを感じてほしいと、



～幼稚園での花育活動～
思い思いに選んだ花を
アレンジする子どもたち

提供いただいた寒河江のバラと店の花を持ち込んで続けている「花育」活動である。「花育」については自ら東京のセミナーに通って学んだという熱の入れよう。この他にも、市内の学童クラブや子ども会などの要望に応じ出前授業を行っている。

子どもの頃から両親に後継ぎと期待をかけられ、拓也さん自身も

いずれは店を継ぐと考えていた。決断したのは大学受験を控え何を勉強しようか迷っていた時、花屋になるならなるべく早く勉強をしようと、受験をやめて東京の専門学校への入学を決めた。卒業後は6年間、都内の生花市場や生花店でフラワーアレンジの修業を積み、その後、独学で技術を磨いてきた。そして、今年2月、第29回技能グランプリフラワー装飾職種で金賞・厚生労働大臣賞を受賞。4回目の出場です。初回の栄冠を手にした。

「花から幸せを感じ、人を喜ばせることができる思いやりのある子どもたちを育てていきたい」と語る拓也さん。次の目標は、4月中旬、フラワーデザイン競技会の最高峰「ジャパンカップ」での優勝だ。拓也さんの父が「花が湧き出でるような花屋に…」と願いを込めて名付けた「花泉」の後継者として、ますます大輪の花を咲かせようとしている。



「旬の花を美しく、お客様が笑顔になるようなものをつくりたい」と日々精進している。

(子ども家庭支援課 023-627-1153)

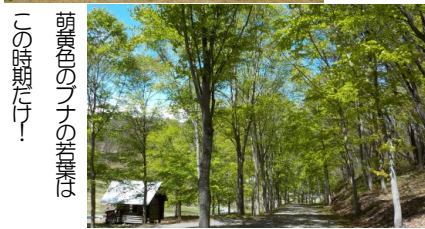
● 村山地域森づくり揭示版 ●

～県民の森、

平成29年度オープン間近です！～



昨年のオープニングイベントの様子



この時期だけ！
萌黄色のフナ若葉は

毎年4月29日（昭和の日）は、「山形県県民の森」のオープンの日です。ゴールデンウィークとともに、県民の森の新たな一年がスタートします！！

当日はオープニングイベントとして、主会場の森林学習展示館周辺で、青空クラフト教室や丸太切り体験、竹馬・コマ回しなどの昔遊びができるブースが並びます。また恒例となってるミニSLもやってきます。その中でもお勧めの体験は「春の森林案内」です。この時期だけに見ることができる萌黄色の森はとても美しく、ぜひ親子いっしょに体験ください。また、山辺高校生徒による手作りパンなどの販売や「緑のプレゼント」、「ふるまい餅」もあります。

4月29日は、様々なプログラムを用意し、みなさまのお越しをお待ちしています！

※定員になり次第締め切るプログラムもありますのでご注意ください。

(森林整備課 森づくり推進室 023-621-8248)

東日本大震災追悼・復興祈念イベント“3.11 キャンドルナイト”



キャンドル点灯式

東日本大震災から6年目となる3月11日、文翔館において、追悼・復興祈念イベント“3.11 キャンドルナイト”が開催されました。

議場ホールで行われたオープニングセレモニーでは、避難者と支援団体の方々が復興メッセージを発表した後、山形交響楽団による追悼・復興への祈りを込めた演奏が披露されました。



美しく浮かび上がったキャンドルの灯

文翔館前広場では、参加者による手作りのキャンドル（蜜蝋）に灯がともされ、会場全体が追悼と復興を願う厳粛な雰囲気になりました。

(総務課 防災安全室 023-621-8115)

インフォメーション

自動車税の納期内納税について

今年度（平成29年度）の、自動車税の納期限は**5月31日（水）**です。忘れずに、期限までに納めましょう。

お近くの金融機関、郵便局、各総合支庁税務担当課、コンビニエンスストアのほか、インターネットを使ってクレジットカードでも納めることができます。

また、口座振替は納期限の日に預金口座から振替納税され便利です。

金融機関で、平成30年2月までに申し込みいただくと、平成30年度から口座振替になります。



（課税課 023-621-8256）

5/31 水 までに
自動車税を納めましょう

飼い犬への狂犬病予防注射を忘れずに！！

狂犬病は犬だけでなく、人を含めた哺乳類に感染する可能性があり、発症した場合は治療がなく、ほぼ100%死に至る恐ろしい感染症です。飼い犬に予防注射を受けさせることで犬を狂犬病から守ることは、飼い主自身や家族、近所の住人や他の動物への感染防止につながります。

毎年4月から6月にお住まいの各市町で集合注射を行いますので、広報誌やハガキなどで会場と日時を確認し、忘れずに飼い犬に予防注射を受けさせてください。なお、動物病院でも予防注射を受けることができます。注射をすると注射済票が交付されますので、鑑札と一緒に首輪に着けましょう。



（生活衛生課 023-627-1187）

《三寺まいり》 おすすめです！

悪縁切りの山寺、若返りの慈恩寺、縁結びの若松寺をオリジナル御朱印帳を持って巡る「出羽名刹三寺まいり」が、4月1日より始まります。各寺で購入できる御朱印帳パッケージ（3,330円）は、オリジナル御朱印帳の他、三寺での御朱印代等がセットになっています。PRにはロケで若松寺を訪れた後にご結婚されたタレントの山田花子さんから協力をいただいています。幸せいっぱいの花子さんにあやかりたいですね。

（地域産業経済課 観光振興室 023-621-8444）



都市公園の遊具等の更新について

山形県総合運動公園では、古くなった木製遊具を撤去し、小さいお子様でも楽しめるような機能満載の遊具を設置しています。今回新たに人工芝を敷き、安全衛生面でも気持ちよくご利用いただけるよう配慮しています。

また、西藏王公園でも古い木製遊具を撤去し、お子様に特に人気のあるロッククライミングとターザンロープを設置しました。

中山公園では、休憩施設を4箇所リニューアルし、より快適に過ごせるようになっています。

ぜひ、みなさまのご利用お待ちしております。

山形県総合運動公園
複合遊具 ↓



西藏王公園 ↑
ロッククライミング

中山公園
休憩施設 ↓



（都市計画課 023-621-8221）

総合案内窓口を改修しました！

このたび、村山総合支庁の総合案内窓口間に間仕切りを設置しました。ロビーの様々も行き、より明るく、すっきりと使いやすいロビーとなっています。各種情報の配架や、ミニギャラリー、村山地域産品、行政情報のパネル掲示など、随時展示していますので、ぜひご覧ください。（総務課 023-621-8106）



あとかき



春は別れもあります
が、出会いもたくさ
ん。花便りといっしょ
に、明るく笑顔で始め
ましょう。

■発行元■
村山総合支庁総務企画部
総務課総合相談担当
Tel. 023-621-8106
Fax. 023-624-3056

村山総合支庁ニュースは、山形県のホームページからも ご覧いただけます。

<http://www.pref.yamagata.jp/ou/sogoshicho/murayama/301001/murayamanews.html>

